

報道発表資料の配付日時 3月25日(月) 16時00分

発表項目 (行事名)	「日口さけ・ます漁業交渉」(日本200海里水域分)の結果について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	平成31年3月18日からモスクワで開催されていた、2019年の日本200海里水域における日本国の漁船によるロシア系さけ・ますの操業条件等を決める「日口漁業合同委員会第35回会議」は、3月22日、操業条件等について妥結しましたので、お知らせします。		
参考			

報道(取材) に当たって のお願い			
他のクラブ との関係	同時配付	北海道水産記者クラブ 同時レク	

担当 (連絡先)	水産林務部水産局漁業管理課国際漁業グループ(担当者:谷内) TEL ダイヤルイン 011-204-5487 内線 28-423、28-424
-------------	--

平成31年3月25日
北海道水産林務部

「日ロさけ・ます漁業交渉」（日本200海里水域分）の結果について

平成31年3月18日からモスクワにおいて開催されていた「日ロ漁業合同委員会第35回会議」は、3月22日に妥結しました。

概要は以下のとおりです。

1 開催月日：平成31年3月18日（月曜日）～3月22日（金曜日）

2 場 所：モスクワ（ロシア連邦）

3 出席者

日本側：保科 正樹（ほしな まさき） 水産庁増殖推進部長（政府代表）
ほか、外務省、水産庁、北海道庁及び関係団体の関係者

ロシア側：サフチュク P.S. ロシア連邦漁業庁副長官（ロシア政府代表）
ほか、外務省、連邦漁業庁及び連邦保安庁国境警備局等の関係者

4 結果概要

(1) 漁獲量

カラフトマス、ベニザケ、ギンザケ、マスノスケ 計1,550トン※（前年同）

シロザケ 500トン（前年同）

合 計 2,050トン（前年同）

※ ベニザケ、ギンザケ、マスノスケについては、3種合わせて1隻当たり1トン以内とする。

(2) 漁業協力費

2億6,412万円～3億13万円の範囲で漁獲実績に応じて決定

（前年は、2億6,484万円～3億12万円の範囲で漁獲実績に応じて決定。

協力費実績額 2億6,484万円。）

連絡先：北海道水産林務部水産局漁業管理課
国際漁業グループ

代表：011-231-4111（内線28-423、28-424）

直通：011-204-5487

日口さけ・ます漁業交渉
(日口漁業合同委員会第35回会議)
妥結に関する水産林務部長談話

日本200海里水域内における我が国さけ・ます漁船の操業条件等を協議するため、3月18日からモスクワで開催されていた日口漁業合同委員会第35回会議が、3月22日に妥結しました。

流通・加工・漁業資材などの関連産業が多く、道東地域の経済に大きく貢献してきたさけ・ます流し網漁業ですが、平成28年1月からロシア200海里水域内での操業が禁止となり、残された日本200海里水域での操業も、近年の不安定な漁場の形成などにより、水揚げの不振が続いてきたことから、道では、さけ・ます流し網漁業の継続に向け、関係団体と連携しながら、漁業協力費の引き下げなどを国へ要望してまいりました。

今回の交渉では、漁獲量に応じて支払われる漁業協力費の最低額が、若干引き下げられたほか、昨年とほぼ同内容の操業条件も確保され、4月10日からの漁期に間にあったことに安堵しております。

道といたしましては、引き続き、本漁業が円滑に操業できますよう、対応してまいります。

交渉にご尽力されました政府代表や関係者の皆様方のご労苦に対し、深く感謝申し上げます。

平成31年3月25日

北海道水産林務部長 幡宮輝雄